

研究課題 (テーマ)		環境リテラシー習得のための体験学習の充実	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者			
	環境工学科	教授	楠井 隆史
研究結果の概要			
<p>1. ひまわり大作戦の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種まきから迷路開園まで、ひまわり大作戦に必要な器具等を購入した。 ・高大連携の一環として、小杉高校の生徒とともにひまわりの種の搾油・BDF変換実験を実施した。 <p>2. エコツアー I の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の安全かつ効果的な活動の実施を担保するため、事前調査を行った。 ・外来植物駆除をできるだけ少人数の班で効率よく実施するためにナチュラリストを増員して実施した。 ・より多くの外来植物を効果的に駆除するために、除去器具を購入した。 <p><実施結果></p> <p>1. ひまわり大作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり栽培の体験を通じて、学生が資源の大切さや環境問題への関心を高めるとともに本事業を通じて地域社会に貢献することが出来た。 ・大学にとっても特色のある環境教育を展開することができ、また、県立大学及び地域の象徴として社会に定着し、大学・地域のイメージアップにつながった。 <p>2. エコツアー I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立山の大自然に触れながら、地球温暖化や大気汚染物質の飛来、外来種植物の持ち込み等が、自然や生態系に及ぼす影響を学び、環境に関する問題意識や倫理観を醸成することができた。 ・ナチュラリストによる自然解説を通して、立山の自然と保護対策の実態を学び、学生が人と自然との共生の在り方を考える機会となった。 			
今後の展開			
<p>今後も引き続き、ひまわり大作戦及びエコツアー I を実施していく。</p> <p>ひまわり大作戦は、今後さらに地域社会に貢献するため、種まきを近隣幼稚園に開放し、実施を行う。また、近隣の高校生にひまわり大作戦の諸活動を体験させるなど活動をより発展させていく。</p> <p>エコツアー I は、教育効果が非常に高いことから、27年度同様に実施する。また外来種除去活動を県立大学の活動としてより外部に周知するための方策を検討していく。</p>			